

### 第3学年東組国語科「保護色を使った生き物たちの知恵をクイズで紹介しよう

～『自然のかくし絵』～

#### 実態把握資料

学習指導者 小出 早織

#### 1 「さ・ぬ・き力」(非認知能力)に関する学級(36名)の実態

授業づくりの重点項目		
<p><b>さ力</b></p> <p>社交性</p> <p>共感性 協調性</p>	<p><b>ぬ力</b></p> <p>目標への情熱</p> <p>粘り強さ 忍耐力</p>	<p><b>き力</b></p> <p>自分を信じる力</p> <p>レジリエンス 自制心</p>
<p>「協調性」についての自覚度が高い。特に「友達の意見が自分と違ってもちやんと聞こうとしている」の項目の自覚度が高く、意見が食い違った際にも、理由を最後まで聞いて、班で考えをまとめることができる子供が多い。しかし、一部の子供の意見だけで話合いが進み、全員が十分に納得しないまま、なんとなく班で結論を出す様子も見られる。さ力の中では、「共感性」の自覚度が低い。友達のことよりも、自分中心に物事を考えて行動する様子がある。</p>	<p>「忍耐力」の自覚度が高い。特に「苦手なことも自分から挑戦している」の項目が高く、苦手な課題であっても、こつこつと取り組むことが大切であると思っている子供が多い。しかし、「目標への情熱」の自覚度が低い。中でも「人から言われなくても、自分から進んで学習している」の項目が低い。学習に対してやらなければならないことを意識してはいるが、自分からはすぐに取り掛かることができず、教師や保護者から声をかけられて取り掛かるといった様子がある。</p>	<p>「自制心」の自覚度が高い。特に「自分で決めたことは最後までやりぬく」や「計画を立てたらできるだけそうしている」の項目が高く、決めたことは、最後まで頑張ろうとする子供が多い。しかし、「自分を信じる力」の自覚度は低く、「自分のことが好きである」の項目が特に低い。「苦手だったり、できなかつたりしたことがあっても気にしない」の項目の自覚度も低い。失敗することへの抵抗から、活動に消極的になり、ネガティブに考えすぎるようである。</p>

#### 2 教科に関する学級の実態

- ・国語の勉強が好き(26名) まあまあ好き(9名) あまり好きではない(1名)
- ・説明文を読むのは好き(21名) まあまあ好き(12名) あまり好きではない(3名)
- ・説明文を読むときに気を付けていること
  - ・どんな内容なのか考えながら読む(3名) ・声の大きさや速さなど音読の工夫(12名)
  - ・段落を確かめながら読む(1名) ・特になし(8名) ・その他(5名)

国語の授業に対する意欲や関心は高く、説明文を読むことも好んでいる子供が多い。しかし、説明文を読むときに事柄の順序や構造を考えたり、重要な語や文を見つけて、書き手が伝えたいことは何かを考えたりすることについて意識が薄い。

#### 3 個別支援が必要な子供の実態

A児…友達と関わることに苦手意識を感じている。学習の内容を理解したい、考えたことを伝えたいという思いはあるが、言葉でどのように説明するとよいか分からず、考え込む姿が見られる。

第3学年東組 国語科学習指導案

「保護色を使った生き物たちの知恵をクイズで紹介しよう ～『自然のかくし絵』～」

学習指導者 小出 早織



1 本単元で目指す『自ら伸び続ける子供』の姿

【詳細はこちら】

本単元では、『自然のかくし絵』を読み、保護色を使っている生き物たちのクイズを作り、作ったクイズを集めて「かくれんぼ展」を開くという言語活動を設定する。教材文を読んだ後、教師自作のクイズのモデルを見て、クイズ作成への意欲を高めた子供たちは、「どのようにクイズを作るとよいのか、『自然のかくし絵』で練習しよう」という思いをもち、段落ごとの内容を捉えながら、「どのように身を隠しているのでしょうか」などの「問い」の答えになる短い文章を作っていく。その際には、「問い」と「答え」の関係に着目しながら、「問い」の答えに必要な言葉を見付け、段落ごとの内容をまとめていく。例えば、「ゴマダラチョウの幼虫は、葉っぱが黄色になると、自分の体の色も変えて隠れているから『だんだん黄色に変わっていく』が大切だと思ったよ」「なるほど。保護色に関する言葉だね。ぼくは、『周りの色が変わるにつれて』、『体の色を変える』という言葉が問いに関する言葉だと思ったけど、〇〇さんが見付けていることと似ているな」「『まわりの色がへんかするにつれて、体の色が変わっていく』は、『エノキの葉が黄色くなるにつれて、だんだん黄色にかわっていく』を言い換えていると思うよ。だから、どちらも同じような内容だね」「それじゃあ、ゴマダラチョウの幼虫が体の色をどのように変えているかがよく分かる『エノキの葉が黄色くなるにつれて、だんだん黄色に変わる』を使って答えを作るといいんじゃないかな」「たしかに、この写真のように黄色く変わっている様子もよく分かるから、こっちの言葉を答えに入れよう」などのように、答えに必要な言葉について友達と話し合いながら多様に考えていく。このような学習を通して、大切な言葉を見付けながら段落ごとの内容をまとめると、クイズの答えを作ることができることに気付いた子供たちは、自分がクイズを作る際にも生かそうとしていくだろう。

2 単元計画と働きかけの概要 (本時 5/10)

㊦：価値付け

次	学習の流れ	働きかけ
一	<p>① 学習の計画を立てよう</p> <p>教材文を読み、教師自作のクイズを見た後で、保護色を使っている生き物たちのクイズを作り、作ったクイズを集めて「かくれんぼ展」を開くという言語活動を設定し、学習計画を立てる。</p>	<p><b>見通し</b> 情【かくれんぼ展への道】②～⑩</p> <p>単元のゴールと学習計画を確認することで、ゴールと本時の課題とのつながりを感じられるようにする。㊦単元のゴールを意識し、課題解決の価値を感じて、理由を言葉にできている姿や、その理由を聞いて納得している姿に共感する。</p>
	<p>② 段落について知ろう</p> <p>段落の意味について知り、「問い」がどの段落に書かれているかを捉える。一、二段落を読んで、保護色とはどのようなものなのかまとめる。</p>	<p><b>行動</b> 粘【答え確認ボード】②～⑦</p> <p>透明シートに印刷した教材文に「問い」の答えとして大切だと思う言葉に線を引いて、班で1枚のボードで共有し、交流する時間を設ける。答えに必要な言葉について、友達と話し合いながら多様に考えられるようにする。㊦問いに関する言葉について友達と話し合いながら多様に考えたことで、答えを作ることができたと感じている姿を称賛する。</p>
二	<p>③④⑤ 昆虫の身の隠し方についての答えを作ろう</p> <p>問いに関する言葉に着目し、筆者が事例に挙げている3種類の昆虫の身の隠し方についての答えを作る。</p>	<p><b>振り返り</b> 信【学びマップ】②～⑩</p> <p>二つの観点について、自分の頑張りを3段階で振り返り、「次にしたいこと」を記述する時間を設ける。自分の頑張りに目が向きづらい子供には、教師が本時の頑張りを伝える。㊦本時の頑張りを、次にしたいことを考えられている姿を称賛する。</p>
	<p>⑥⑦ どんなときでも敵から身を守ることができるのかについての答えを作ろう</p> <p>問いに関する言葉に着目し、「どんなときでも敵から身を守ることができるのか」についての答えを作る。</p>	
三	<p>⑧⑨⑩ クイズを作って、「かくれんぼ展」を開こう</p> <p>教師作成の資料や図鑑を参考に、保護色を使った生き物の身の隠し方について、クイズの答えを作る。そして、作ったクイズを展示し、「かくれんぼ展」を開いて全校生に読んでもらえるようにする。</p>	

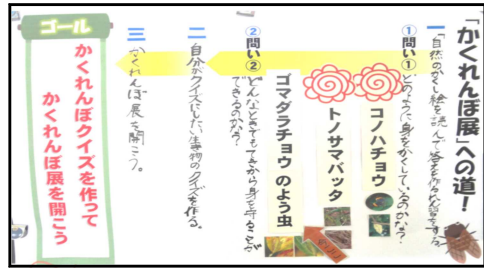
### 3 本時の学習

目 標	「問い」と「答え」の関係に着目し、ゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方についての答えを作ることができる。	
学習活動と働きかけ	主な子供の意識	
見 通 し	1 学習課題を確認する。 【かくれんぼ展への道】 【目標への情熱】	<p>前の時間は、「問い」に関係する言葉を見つけて、トノサマバッタの答えを作ったよ。</p> <p>「トノサマバッタは、自分の体の色が保護色になるような場所を選んで身を隠している」という答えを作ることができたよ。</p> <p>ゴマダラチョウの幼虫の答えも作ることができたら、他の生き物でもクイズが作れそうだな。</p>
行 動	<b>ゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方についての答えを作ろう</b>	
	2 ゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方について、問いに関係する言葉を見付ける。 (1) 個人で  (2) 班で 【答え確認ボード】 【粘り強さ】	<p>「問い」に関係する言葉を見つけて、答えを作るとよかったよ。</p> <p>「周りの色が変わっていくにつれて」と「エノキの葉が黄色くなるにつれて」「体の色が変わっていく」と「だんだん黄色に変わっていく」が、保護色や身の隠し方に関する言葉だと思ふな。ゴマダラチョウの幼虫がどんな色で隠れているかがよく分かるから必要だと思ふな。</p> <p>友達はどう考えたのかな、友達の考えも聞きたいな。</p> <p>ゴマダラチョウの幼虫は、「周りの色が変わっていくにつれて、体の色が変わっていく」から、保護色になって敵から身を隠すことができるんだね。この二つの言葉を答えに使うとよさそうだね。</p> <p>重なりが多いのは、「エノキの葉が黄色くなるにつれて」と「だんだん黄色に変わっていく」という言葉だね。エノキの葉の色に合わせて、自分の体の色を変えているところが問いに関係しているから、答えに使うといいね。</p>
	3 ゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方についての答えを作る。	<p>「まわりの色が変わっていくにつれて、体の色がかわっていく」は、「エノキの葉が黄色くなるにつれて、だんだん黄色にかわっていく」を言い換えているから、どちらも同じような内容だね。</p> <p>すっきりまとめていて分かりやすいから「周りの色が変わっていくにつれて」と「体の色を変えて」を使って答えを作ろう。</p> <p>ゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方が詳しく分かるから、「エノキの葉が黄色くなるにつれて」と「だんだん黄色に変わる」を使って答えを作ろう。</p>
	4 本時の学習を振り返る。 【学びマップ】 【自分を信じる力】	<p>「問い」に関係する言葉を見付けると、答えを作ることができたよ。</p> <p>次も問いに関係する言葉を見つけて答えを作りたい。</p> <p>班の友達と話し合うことで、答えに必要な言葉を見付けることができたよ。</p> <p>「かくれんぼ展」に向けて、二つ目の問いでも答えを作る練習をしたいな。</p>
評 価	「問い」と「答え」の関係に着目し、答えに必要な言葉について友達と話し合いながら多様に考え、考えたことを基に、ゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方をまとめる。そして、クイズ作成への意欲を高めている。 <span style="float: right;">【方法：様相・記述】</span>	

働きかけの詳細資料

～見通し～ 情【「かくれんぼ展」への道】(2～10時間目)

『自然のかくし絵』を読み、保護色を使っている生き物たちのクイズを作り、作ったクイズを集めて「かくれんぼ展」を開くという単元のゴールと学習計画を補助黒板に示す。本時では、前時までの学習を振り返り、学習計画に沿って本時の学習課題を確認する。その際、課題設定の理由を問い、全体で共有することで、本時の学習課題と単元のゴールとのつながりを意識できるようにする。

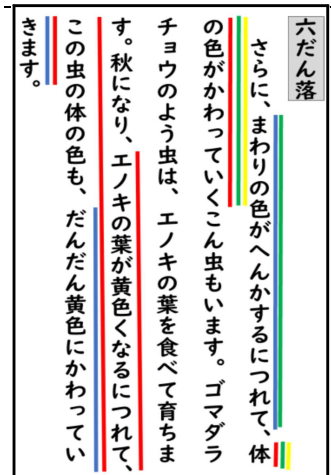


【かくれんぼ展への道】

**価値付け** 本時の課題設定の理由を尋ねた後、課題解決の価値を感じて、理由を言葉にできている姿や、その理由を聞いて納得している姿に「今日の目当てが達成できたら、お気に入りの生き物クイズも作れそうだね」などと共感する。

～行動～ 粘【答え確認ボード】(2～7時間目)

クイズの答えを作るには、「問い」に関する言葉を見付けるとよいことを2時間目に共通理解している。そして、これまでに見付けてきた「問い」に関する「身の隠し方」や「保護色」についての具体例や、それらの言葉を使って作った答えを補助黒板に掲示しておくことで、答えを作るのに必要な言葉を見付けやすくする。本時では、六段落の内容から答えを作るのに必要な言葉を見付け、班で交流する。見付けた言葉は、透明シートに印刷した教材文に、個人ごとに色の違うマジックで線を引き、班で1枚のボードで重ねて比較することで、考えの異同を視覚的に捉えやすくする。そして、見付けた言葉と、大切だと考えた理由を話し合う際は、ボードを基に、重なりが少ない言葉から取り上げるようにし、答えで必要な言葉について友達と話し合いながら多様に考えられるようにする。その後の全体交流では、答えに必要な言葉と、理由を全体で共有することで、各自で答えを作りやすくする。自分から進んで交流に参加しにくいA児には、交流前にA児が線を引いた言葉について、どうしてこの言葉を答えに入れるとよいと思ったか尋ね、言葉で考えを表出させる。そして教師がA児の言葉を補うことで、その後の交流で自信を高めて発言できるようにする。

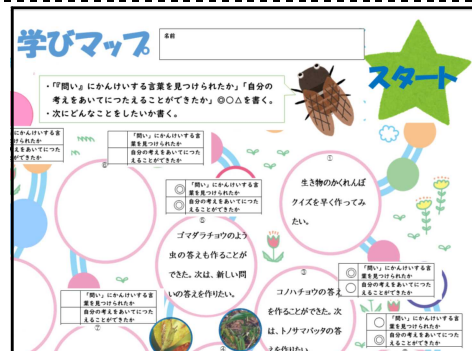


【答え確認ボード】

**価値付け** ゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方について各自でまとめた後、「友達と話し合いながら、答えに必要な言葉についてたくさん考えたから、ゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方の答えを作ることができたね」などと称賛する。

～振り返り～ 信【学びマップ】(2～10時間目)

振り返りでは、「問いに関する言葉を見付けられたか」「自分の考えを相手に伝えることができたか」について、自分の頑張りを3段階で振り返るとともに、「次にしたいこと」を記述する時間を設ける。振り返りを学びマップに書きためて一覧で見られるようにすることで、自分の頑張りが成長を実感できるようにする。自分の頑張りに目が向きづらい子供には、教師が本時の頑張りを伝える。A児のように考えたことを書き表すことが苦手な子供には、次にどんなことをしたいか問い、口頭で表出させた後、記入を促す。



【学びマップ】

**価値付け** 自分の頑張りが次にしたいことを記述した後に、自分の頑張りを捉えている姿を「今日の学習を振り返って、自分の頑張りを見付けられているね」と称賛し、次にしたいことを見付けている姿を「自分のことを振り返られたから、次の目標を見付けられているね」などと称賛する。